

森林のはたらき

国土や水源を守り育てます

- 大地に深く根を張ることで地盤を守り、山崩れなどを防ぎます。
- 雨水や雪解け水を柔らかく受け止め、川に流れ出る量をうまく調整してくれます。



私たちの生活環境を守ってくれます

- 温度の急激な上昇や周囲の騒音などを抑え、農地などへ強風や吹雪が入り込むのを防ぎます。
- 二酸化炭素を吸収して炭素を蓄えることで、地球温暖化防止に貢献しています。



たくさんの生き物を育てます

- 猛禽(もうきん)類などの野生鳥獣や、貴重な植物、微生物など、森林は多くの生き物を育てています。



人と自然とのふれあいの場です

- 森林は心と身体を休める場や、レクリエーション、森林環境を学ぶ場でもあります。
- 美しく雄大な景観を私たちに見せてくれます。



木材を供給し、私たちの暮らしを支えています

- 森林から産出される木材は、建物や家具の材料、紙の原料、薪や木質ペレット等の燃料などとして、私たちの暮らしを支えています。



木とふれあえる イベント情報を発信しています

木育の情報はこちら

北海道、林野庁北海道森林管理局、公益社団法人北海道森と緑の会では、関係市町村や団体と連携しながら、道民参加による協働の森づくりを進めるため、「森林づくり」や「木づかい」の一連のイベントを毎年「北海道・木育フェスタ」として開催しています。道内各地の植樹や育樹、木工などが体験出来るイベント情報を発信していますのでご覧下さい。

みんなでイベントに参加しよう



芽森(めもりー)

イベントや木育の情報はこちらをご覧ください

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/index/htm>



令和2年(2020年)の秋には、北海道で33年ぶりとなる「第44回全国育樹祭」を開催します!



「第44回全国育樹祭」の情報はこちら

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zij/ihtm>



このリーフレットについてのお問い合わせ先

北海道水産林務部森林環境局森林活用課

TEL.011-204-5514

植えて 育てて
豊かな森林を未来につなごう



10月第3土曜日は育樹の日
10月は育樹月間

5月第2土曜日は植樹の日
5月は植樹月間

北海道植樹の日・育樹の日条例

北海道命名150年の節目である
平成30年(2018年)に
全国の都道府県に先駆けて制定しました。

北海道植樹の日・育樹の日条例

「北海道植樹の日・育樹の日条例」は、平成30年第4回北海道議会定例会で提案され、平成30年(2018年)12月25日に施行されました。植樹及び育樹活動への参加をはじめ森林づくりへのご理解とご協力をお願いします。

5月第2土曜日は植樹の日

5月は植樹月間

10月第3土曜日は育樹の日

10月は育樹月間

目的・趣旨

道民一人ひとりが、植樹及び育樹(枝打ちその他の樹木を育成するための行為をいう。)を通じて、森林及び樹木に触れて親しむことにより、身近な場所からはらかな山並みに渡る緑の木々に思いをはせ、北海道の森林の豊かさ及び森林がもたらす様々な恵みに感謝する心を育み、協働による森林づくりを進め、北海道の豊かな森林を未来に引き継いでいくことを期する日として植樹の日及び育樹の日を設ける。

詳しくは道庁水産林務部森林活用課のホームページをご覧ください。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/mokuiku/jyourei/jyourei_top.htm



植樹の日・育樹の日PRフラッグ

平成31年1月に札幌市内で開催した条例制定記念イベントで、来場者の皆さまとともに作成した大型の横断幕です。

ニニニ樹木図鑑

エゾマツ (マツ科トウヒ属)

常緑針葉樹、高さ30m以上、太さ1.5~2m、山地の斜面や沢すじに多く生え、トドマツや広葉樹と混交します。北海道の木に指定されています。
用途：建築、楽器、家具、器具、パルプ材など



トドマツ (マツ科モミ属)

常緑針葉樹、高さ20~30m、太さ60~90cm、北海道ではもっとも普通にみられ、広葉樹やエゾマツとの混交林または純林をつくります。
用途：建築、器具、包装用材、魚箱、パルプ材など

カラマツ (マツ科カラマツ属)

落葉針葉樹、高さ30m、太さ60~80cmほどになります。本州中部地方原産で、成長が早いことから道内に広く植林されています。
用途：建築、パルプ材、梱包・輸送用材、土木、合板用材、家具など



スギ (スギ科スギ属)

常緑針葉樹、長寿で、高さ50m、太さ2mになります。斜面下部などの湿潤で有機質に富む土壌を好み、道内では主に道南地域で植林されています。
用途：建築、土木、磨き丸太、家具、器具、曲げ物、装飾品など

イチイ (イチイ科イチイ属)

常緑針葉樹、高さ10~15m、太さは1m程度になります。やや暗い林の中に多く見られます。道内の代表的な緑化樹です。
用途：床柱、欄間、寄木細工等の民芸材、家具など

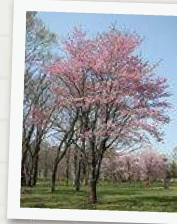


北海道の森林を構成している主な樹種を紹介します。

※北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場・林産試験場ホームページをもとに作成。

エゾヤマザクラ (バラ科サクラ属)

落葉広葉樹、高さ15~20m、太さ80cmほどになります。山地の斜面に生え、北海道を代表するサクラです。オオヤマザクラともいいます。
用途：家具、器具、楽器、彫刻材、細工物(樹皮)など



ミズナラ (ブナ科コナラ属)

落葉広葉樹、高さ20~25m、太さ100cmほどになります。山地に多いですが、海岸まで広く生えます。秋には「ドングリ」がなります。
用途：フローリング、壁板、器具、家具、洋酒樽材、シイタケほだ木など

イタヤカエデ (カエデ科カエデ属)

落葉広葉樹、高さ15~20m、太さ1mほどになります。土地をあまり選ばず、平地から山地まで生えます。秋には黄葉します。
用途：床材、家具、スキー板やボーリングのピン等の運動具、楽器など



アオタメ (モクセイ科トネリコ属)

落葉広葉樹、高さ10m以上、太さ50cmほどになります。硬式野球用のバット材として有名です。道内では、太平洋沿岸地域に集中して分布しています。
用途：バット用材、テニス・バドミントン用ラケット、道具の柄など

ハルニレ (ニレ科ニレ属)

落葉広葉樹、高さ30m、太さ1.5m以上の大木になります。平地の適潤またはやや湿った肥沃な土地に生え、枝を大きく広げます。
用途：家具、太鼓の胴、臼、杵など

